

---

## 平成 29 年度第 3 回彦根市環境審議会 会議概要

開催日時：平成 30 年 2 月 20 日(火) 10 時～12 時 03 分

開催場所：大学サテライト・プラザ彦根 A 教室

### 【会議の内容】

#### 1. 開会

#### 2. 議事

##### (1) 第 2 回の会議の振り返りについて

- 基本方向 1 の個別指標である「自然観察会の参加者数」について、子どもセンターで行っている天文事業（講座）も自然観察会に該当すると判断し、その実績を勘案したうえで、目標値を再検討した結果、下方修正することを確認した。また、連動する環境指標である「環境学習会等の延べ参加者数」の目標値も下方修正することを確認した。
- 基本方向 2 の環境指標を「環境苦情の解決率」に変更することについて、内訳として環境苦情の件数、解決数等も参考資料として提示するなどわかりやすくすることを確認した。また、個別指標である「環境こだわり農家実施面積の推移」については、再検討の結果、削除せずに指標として残すことを確認した。
- 基本方向 3 の個別指標である「自然環境保全活動の開催数」について、指標としては削除をするが、基本方向 1 の個別指標である「自然観察会の参加者数」に係る取組内容、参考資料として、市が把握した自然環境保全活動の取組状況を提示するよう努めることについて確認した。

##### (2) 第 2 期彦根市環境基本計画および地域行動計画における基本方向 4 から基本方向 6 までの環境指標および個別指標の見直しについて

- 基本方向 4 の環境指標である「歴史的建造物等の指定件数」を「市指定文化財の件数」に変更することについて、新たな指定件数が年間 1、2 件であれば、目標に掲げなくても取組が進むのではないか。年間の目標値を増やせないか。また、市指定文化財の件数を指標とすると、市（行政）だけの取組で進んでいくものではないものを指標とすることになるが、問題はないか所管課と調整が必要である。
- 基本方向 4 の個別指標である「ボランティアガイド登録数」は、観光客へのおもてなしだけでなく、彦根の歴史・文化などの普及・啓発にも貢献されていると考えられるので削除せずに残すべきではないか。

- 
- 基本方向 4 の計画の個別目標である「⑰生活様式の改善」に寄与する指標がないと思われる。
  - 基本方向 6 の個別指標である「公共施設における年間太陽光発電総量」について、発電量モニターがなく容易に発電量を測れない設備があれば、例えば発電容量の 7 割程度を発電量とするなどの対応も考えられる。公共施設に限らず市内の太陽光発電総量、設置数については、電力会社からデータを提供してもらうなどし、指標に掲げ取り組めないか検討する必要がある。
  - 基本方向 6 の個別指標である「公共交通機関利用者数」について、データは「乗客数」、「乗降客数」が混在しているが、意味があるのか。また、高齢化等が進む中で、公共交通機関利用者数は減っていき、目標値としている 11,000 千人は達成が困難だと考えるが、修正は必要ないか検証すべきである。

⇒平成 29 年度の彦根市環境審議会からの彦根市長への意見・提言内容については、会長に一任することを会議で確認した。

### 3. 閉会